

看護連盟だより 71 号に寄せてご挨拶



栃木県看護連盟会員の皆様、連盟活動へのご協力、ご支援をいただき有難うございます。新型コロナウイルス感染症は、5月から5類感染症に引き下げられましたが、新規感染者の緩やかな増加が継続しています。医療の最前線で県民の健康と命を守ってくださっている会員の皆様に敬意を表し感謝申し上げます。

さて、6月13日の日本看護連盟通常総会において、次期（第27回）参議院選挙組織内候補予定者が47都道府県の一人の反対者もなく「石田まさひろ 現参議院議員」に決定いたしました。コロナ禍において看護職の処遇改善等にいち早く問題提起をくださり、看護職にとって長年の懸案事項でありました医療職3表の改正まで進めてくださいました。現場の状況を知る看護職の代表を国政の場に送り届ける重要性を、誰もが実感してくださったと思います。

栃木県においては6月19日に通常総会が開催されました。退任された役員支部長さん達は特に昨年の選挙において活発な活動していただき感謝申し上げます。新しい役員支部長さん達とともに次回の選挙に向けて連携、活動していきます。午後の研修会は、日本看護連盟の高原会長より「看護連盟の役割—看護職にとって政策とは—」の講義でした。人口減少、IT化等社会の変化がますます進む中、自分たちの働きやすい環境作り、処遇改善を進めていくためにも会員増の必要性が理解できたのではないのでしょうか。看護協会との連携を更に強化し看護政策実現のために共に前進していきましょう。



栃木県看護連盟会長

宮本 律子

会員の皆様には、日本看護連盟事業にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束をみないまま「5類」に引き下げられました。しかし、感染症が収束したわけではなく、ウイルスの感染力が低下したということでもありません。そのような状況下で、医療や介護、地域の様々な場所で新型コロナウイルス感染症と闘っている会員の皆様に心から感謝と敬意を表します。

昨年来、「看護職員処遇改善評価料」新設、「国家公務員医療職俸給表(三)」改正と看護職には追い風が吹いています。しかし、看護が多様な場であらゆる世代の人々の健康を支えていくためには、看護職の確保や個々の看護職がその能力を高め、より効果的に活動することが求められます。

また、持続可能で質の高い医療・看護提供体制を構築していくためには、「現場の声」を届ける私たち組織の声こそが、政治を動かす原動力となります。緊密に意思疎通を図り、看護政策の実現のため、共に力を合わせ進んでまいりましょう。



日本看護連盟会長

高原 静子

「声を出せない子どもたちへの支援」

いつもご支援、ご指導賜りまして、誠にありがとうございます。

先日の衆議院内閣委員会にて、孤独・孤立に関する現状課題について質問いたしました。『望まない孤独』は、大人だけではなく、子ども達にも深刻な問題です。各校へのスクールカウンセラーの配置が進んでいるにも関わらず、子どもの自殺数は増えています。保護者、先生、スクールカウンセラーと、大人たちが近くにいながら、助けてと言いつけられない子ども達があります。電話での悩み相談という旧来の手法ではなく、SNSを活用したアウトリーチ型の支援と、その先にある対面・オフラインでの支援が求められています。デジタルとアナログによる両輪で、子どもを救っていかなくてはなりません。

これまで、孤独・孤立問題は内閣府が所管、自殺予防への対応は厚労省と、所管が分かれていました。子ども家庭庁が設置された今、縦割りの壁を越えて、子どもの安心・安全・安寧の第一優先を、政府に強く要求しました。



衆議院議員

あべ 俊子



衆議院議員

たかがい 恵美子

長雨の候、健やかに過ごしのことと存じます。

栃木県看護連盟の皆様には、平素より看護政策の推進及び後進の育成にご尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。

こども家庭庁が始動し、お年寄りだけではなく子供たち・子育て世代の支援、また人生100年時代を支える新たな社会保障制度の補強について、関心が高まっています。

看護職には、いのちに寄り添いその生命力を守り支えるプロとして、これまで以上に期待が寄せられています。ひとり一人が意欲を持ち、その尊い使命を果たしていくためには働き続けることのできる職場環境づくりと技術に見合う報酬の確保が極めて重要な課題です。看護職が尊重され自分らしく活躍できる未来のために、これからも皆様とともに現場最優先で行動いたします。

看護職と看護職を応援する皆様の健康と繁栄を願っています。



参議院議員

石田 昌宏

栃木県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。エネルギー価格の高騰等により、消費者物価指数は前年比で約3.5%上昇し、医療機関・訪問看護事業者等も大きな影響を受けており、また、春闘ではインフレ率を超える賃上げを目指しています。診療報酬・介護報酬等は公的価格のため、諸経費が増大しても価格に転嫁することができず、大変厳しい経営を強いられています。自民党の社会保障制度調査会において、来年の診療報酬・介護報酬等の改定で、物価や賃金上昇に対応できるよう、大幅引き上げを提言しました。しっかりと進めていきます。

政治は「現場」と共にあります。現場で起きていること、その声を引き続きお聞かせください。私も国会という現場で、看護職が報われる環境づくりのために、引き続き尽力して参ります。

栃木県看護連盟の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。



参議院議員

友納 理緒

栃木県看護連盟の皆さま、こんにちは！

医療現場では、コロナの分類変更などから生じる様々な状況にご対応いただいていることと存じます。皆さまの日々の業務に感謝しますとともに、そのご負担を少しでも軽減できるように国政の場で努めてまいります。先日も、現在開会中の通常国会において、内閣委員会で質問に立ち、厚生労働省に対し、コロナの分類変更後においても、医療現場が感染対策の水準を判断しやすいように、手引きやガイドラインを出すべきだとお伝えしたところです。

厚労分野のほか、働く女性の健康支援（産業保健）、こども政策、デジタル社会推進、防災DX等取り組む課題は多岐にわたります。看護の視点から、現場の声をしっかりと制度や法律に反映できるように取り組んでいます。

時代により変化する看護職の機能や役割を現場の皆さまが適切に果たし、その専門性を発揮できるよう尽力いたしますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



足利市議会議員

中島 まゆみ

統一地方選挙足利市議会議員選挙では多大なるご支援を賜り、心から御礼申し上げます。託して頂いた一票一票の重みを日々実感しております。子育てをしながら看護師国家資格を取得し、いのちの最前線で働いた約10年間の経験を活かし、子育て環境の充実や地域医療の体制強化に向け邁進していく所存です。

新型コロナを感染症法上の5類に位置づけ、ポストコロナへの大きな一歩を進めることになりましたが、看護職の皆さまが闘った期間は3年以上に及んでおり、現場は疲弊し、やりがいや使命感だけで乗り越えることが困難な状況になっていると思います。地域全体の健康と福祉の充実には看護職の役割が重要であり、労働条件や教育機会の改善に注力していく事は喫緊の課題です。皆さまのご意見やニーズを反映させるため、一生懸命3期目も取り組んで参りますので、引き続きのご指導のほどよろしく願いいたします。